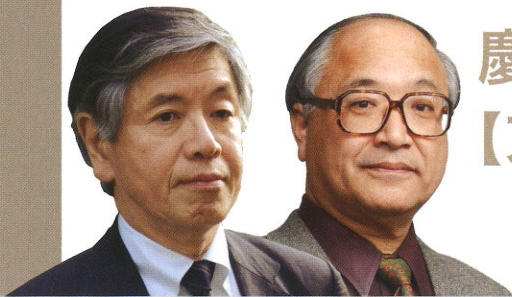


III



慶應義塾大学アート・センター 【アート深耕！ 芸術からはじまる新しい絆】

講師

慶應義塾大学アート・センター所長
慶應義塾大学文学部教授

前田 富士男 Fujio Maeda

慶應義塾大学アート・センター副所長
慶應義塾大学文学部教授

美山 良夫 Yoshio Miyama

慶應義塾大学大学院アートマネジメント分野講師
元彫刻の森美術館館長

鈴木 隆敏 Takatoshi Suzuki

慶應義塾大学アート・センターとは

慶應義塾の歴史と伝統が培ってきた学芸の土壌と、さまざまな学問領域の成果を総合する立場から、現代社会における芸術活動の役割をめぐって、理論研究と実践活動を広く展開する研究機関です。

講座概要

芸術作品が持つ感性的価値を感じるには、受け身の鑑賞ではなく、作品と主体的に対話していくことが求められます。

本講座では、自ら美術品を"選ぶ"ことを通して、作品と能動的に関わる出発点を発見します。

美術品を"選ぶ"とき、そこには、選ぶ目的、基準、着眼、方法など、作品を多角的に捉える行為が欠かせません。それはまた、同時に、美術品が持つ感性的価値を通じて、自らの感性に気づき、それを表現する営みでもあります。

創作者、美術館長、学芸員、古美術商など美術の専門家の示唆に導かれながら、日頃、敷居が高いと感じられるアートの世界との新しい対話を楽しみます。

第1回

5/15(金)

18:30~21:30

創作者の思い

講師 安田 侃(やすだ かん) 彫刻家
鈴木 隆敏

北イタリアを拠点に活動する安田氏の作品は、美術館のみならず丸の内、東京ミッドタウンといった都市開発プロジェクトでも高い評価を得ています。美術館や企画展プロデュースなど美術分野で活躍する鈴木氏とともに、安田氏が作品に込めている"思い"を語っていただきます。

第2回

5/29(金)

18:30~21:30

美術館が生まれるとき

〈フィールドワークI〉

【協力】三菱一号館美術館

講師 高木 茂 三菱地所株式会社 取締役相談役
高橋 明也 三菱一号館美術館館長
恵良 隆二 三菱地所株式会社 三菱一号館美術館開設準備室長
鈴木 隆敏

2009年10月に丸の内に開館する三菱一号館美術館は、明治・大正期の赤煉瓦建築を忠実に再現することで注目されています。この設立に携わった高木氏に、都市再開発から美術館設立へと至った道のりと意志を伺います。また、日頃見ることのできない開館前の美術館を訪ね、芸術の舞台裏を見学します。

第3回

6/12(金)

18:30~21:30

街とともに生きる芸術

〈フィールドワークII〉

講師 鈴木 隆敏

さりげなく街に溶け込んでいる彫刻には、作家の意図があり、また、そこに設置されたことには深い意味があります。彫刻が設置されて35年となる丸の内仲通りを散策し、美術作品の持つ役割と表現力、場所や場面に調和する美術作品のあり方を考えます。

お勧めしたい方

- アートを身近なものにしたい方
- 単なる鑑賞ではなく、アート・芸術の持つ奥深さに触れたい方
- メセナや社会貢献事業に関わっている方

慶應丸の内シティキャンパス

タ学プレミアム

agora

講座の特徴

アート空間へのフィールドワーク(第2回～第5回)

開館前の三菱一号館美術館、丸の内仲通り、慶應義塾大学三田キャンパス、都内美術館などを訪れ、専門家によるガイドのもとでアート空間を体感します。

多彩な講師陣

創る・選ぶ・説明する・評価するといったさまざまな専門家を講師に迎え、アートの捉え方を知り、その基軸を考察します。

開催概要

日程 2009年 5/15、5/29、6/12、6/19、
7/10、7/17、7/31(すべて金曜日)

回数 全7回

時間 18:30-21:30 (3時間)

定員 20名

会場 慶應丸の内シティキャンパス、
慶應義塾大学三田キャンパス(第4回)

参加費 105,000円(税込)

協力:慶應義塾大学アート・センター

第4回
6/19(金)

18:30～21:30

美術と生活のつながり
〈フィールドワークⅢ〉

講師 前田 富士男

選ばれる美術品は、選ぶ人の“思い”の象徴であり、知性・感性が反映されるゆえに、その選定は複雑で難しいものです。お祝いや式典の場面における、美術品の最適な選択は、どういう要件によって検討されているのでしょうか。慶應義塾大学三田キャンパス内のアートスポットを巡り、さまざまな具体例を素材に考えます。

第5回
7/10(金)

18:30～21:30

美術館の歩き方と対話
〈フィールドワークⅣ〉

講師 都内美術館の学芸員を予定

美術館は、最も多くの人々が日頃、芸術に親しんでいる場です。しかし美術館には幾通りもの歩き方や作品との対話の方法があります。都内の美術館を訪ね、学芸員とともに歩きながら、作品と芸術鑑賞の理解を深め、今までに体験することのなかった新しい芸術との対話を試みます。

第6回
7/17(金)

18:30～21:30

生活と美術

講師 浦上 満 浦上蒼穹堂主人、東京美術倶楽部監査役

古美術商として知られ、開かれた古美術をめざし活動する浦上氏を招き、浦上蒼穹堂所蔵品の紹介を通して、飾るだけではない、暮らしの中の美術品のあり方と活かし方について考えます。

第7回
7/31(金)

18:30～21:30

美術品を選ぶ

講師 浦上 満、前田 富士男、美山 良夫

これまでの議論やフィールドワークの体験をふまえ、大切な人への贈答、特別な出来事の記念、生活空間の演出といった、さまざまな目的を設定した作品選定をシミュレートし、その思いや意味を発表・意見交換します。